

【008】国際連合に関する記述として、妥当なのはどれか。

- 1 国際連合には現在 190 以上が加盟しているが、スイスや北朝鮮(朝鮮民主主義人民共和国)はいまだ国際連合に加盟していない。
- 2 総会はすべての加盟国で構成され、総会における決定は、全加盟国の賛成がなければ行うことができない。
- 3 安全保障理事会は常任理事国と非常任理事国とからなり、安全保障理事会におけるすべての決定は、常任理事国だけの賛成で行うことができる。
- 4 国際司法裁判所は、国際的紛争を平和的に解決することを目的として設立され、所在地はオランダのハーグである。
- 5 平和維持活動(PKO)について、日本は、憲法上の制約があることから、これまで参加したことはない。

【009】国際連合に関する記述として、妥当なのはどれか。

- 1 国際連合憲章第 7 章では、安全保障理事会と加盟国間で締結される特別協定に基づいて創設される国際連合軍(UNF)により、軍事的強制措置をとれることになっているが、当該国際連合軍は今日まで設置されていない。
- 2 総会は、全加盟国によって構成され、国際連合のすべての目的に関する問題について討議、決定するが、決定は加盟国の面積や人口に応じて、各加盟国が投票権を持ち、多数決により行われる。
- 3 信託統治理事会は、総会の権威の下に国際労働機関(ILO)、国連教育科学文化機関(UNESCO)、世界保健機関(WHO)などの専門機関と密接に連携しながら、経済、社会分野での国際的な取組みを進めている。
- 4 国際連合は、紛争の拡大を防ぐために、紛争当事国の同意をいかなる場合も必要とせず、加盟国が自発的に提供した軍人や文民を紛争地域に派遣して、停戦監視や紛争地域の治安回復にあたらせる平和維持活動(PKO)を行う。
- 5 安全保障理事会は、常任理事国が決議の成立を阻止できる拒否権を持っているため、全会一致の原則に基づいて運営されており、平和と安全の維持に関しては総会よりも優越的地位を保障されて活動している。

【010】国際連合に関する記述として、妥当なのはどれか。

- 1 国際連合は、集団安全保障体制に基づく国際平和機構であり、第二次世界大戦後にアメリカ大統領ウィルソンの提唱により設立された。
- 2 国際連合は、主要機関として、総会、安全保障理事会、経済社会理事会、信託統治理事会、国際司法裁判所および事務局を設けている。
- 3 国際連合の最高議決機関である総会は、全加盟国の代表で構成され、総会では全会一致の議決方式がとられている。
- 4 安全保障理事会の常任理事国および非常任理事国は、手続事項以外の重要な問題の決定について、拒否権を持っている。
- 5 安全保障理事会は、侵略行為の存在を認めるときは、平和と安全の回復のため、経済封鎖などの非軍事的措置に限り強制措置をとることができる。

【008】 4

- 1 スイスも北朝鮮も加盟している
- 2 過半数、重要事項は3分の2以上
- 3 非常任理事国を含め9か国以上の賛成が必要
- 5 何回も参加している

【009】 1

- 2 1国1票
- 3 ILO等は、経済社会理事会と連携している。
- 4 同意が必要である
- 5 全会一致ではなく、常任理事国5か国を含む9か国以上。

【010】 2

- 1 ウィルソンは国際連盟
- 3 全会一致ではない
- 4 拒否権は常任理事国のみ
- 5 軍事措置も可能